

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(18年2月分)

1. 調査実施期間 平成18年 1月20日 ~18年2月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。

2月分の回答企業数は39社、回収率は68.4%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		18/2月	3月	4月
仕入動向	国産材	△ 8.3	0.0	1.7
	外材	△ 18.1	1.4	7.4
販売動向	国産材	△ 16.1	4.8	0.0
	外材	△ 9.7	13.9	6.9
在庫動向	国産材	0.0	△ 8.1	△ 3.2
	外材	△ 8.3	△ 16.7	△ 2.8

仕入れは3~4月に国産材、外材ともマイナスからゼロ、小さなプラス幅へと好転している。
販売は国産材が大きなマイナス幅から一気にゼロへ回復し、外材はマイナス幅が堅実なプラス幅となっている。
在庫は国産材、外材とも若干上下はあるが小さなマイナス基調で推移している。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	18/2月	3月	4月
スギ正角(グリーン)	△ 1.9	△ 1.9	0.0
スギ正角(KD)	0.0	0.0	1.9
ヒノキ正角	△ 1.9	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	25.0	10.4	8.3
米ツガ防腐土台角	16.0	10.0	6.0
米ツガ割物(現地挽)	32.6	17.4	6.5
米マツ平角	33.3	22.9	8.3
北洋アカマツタルキ(現地挽)	36.4	19.0	4.8
ホワイトウッド集成管柱	26.2	16.7	2.4
レッドウッド集成平角	27.5	12.5	2.5
型枠合板(国産)	39.5	31.6	13.2
型枠合板(輸入)	47.4	26.3	10.5
針葉樹合板	39.5	28.9	10.5

スギ、ヒノキの構造材は3~4月ゼロ、小さなプラス幅で堅調である。
米ツガ正角、土台等、米マツ平角は大きなプラスを一気に縮めだが小さなプラス幅を堅持している。
北洋アカマツタルキも大きなプラス幅を縮めたがプラス幅で推移している。
ホワイトウッド集成管柱、レッドウッド集成平角も同様に大きなプラス幅を一気に縮め、小さなプラスとなり一時の勢いをなくしている。
合板は極めて大きなプラス幅を縮めているが、やや大きなプラス幅で好調持続している。

<参考>木材製品の荷動き・価格先行動向調査

(数値は回答に対する割合)

1. 荷動き

単位:%

品 目			18/2月	3月	4月
仕入動向	国産材	増加	0.0	6.7	0.0
		やや増加	16.7	6.7	10.0
		横ばい	50.0	66.7	83.3
		やや減少	33.3	20.0	6.7
		減少	0.0	0.0	0.0
	外 材	増加	2.8	5.6	2.9
		やや増加	11.1	11.1	11.8
		横ばい	44.4	66.7	82.4
		やや減少	30.6	13.9	2.9
		減少	11.1	2.8	0.0
販売動向	国産材	増加	0.0	3.2	0.0
		やや増加	6.5	19.4	9.7
		横ばい	54.8	61.3	80.6
		やや減少	38.7	16.1	9.7
		減少	0.0	0.0	0.0
	外 材	増加	0.0	5.6	0.0
		やや増加	19.4	22.2	16.7
		横ばい	41.7	66.7	80.6
		やや減少	38.9	5.6	2.8
		減少	0.0	0.0	0.0
在庫動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	16.1	6.5	6.5
		横ばい	67.7	74.2	80.6
		やや減少	16.1	16.1	12.9
		減少	0.0	3.2	0.0
	外 材	増加	2.8	0.0	2.8
		やや増加	11.1	5.6	2.8
		横ばい	58.3	63.9	80.6
		やや減少	22.2	22.2	13.9
		減少	5.6	8.3	0.0

品 目		18/2月	3月	4月
米ツガ正角 (現地挽) 9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3~4m	上昇	4.2	0.0	4.2
	やや上昇	41.7	20.8	8.3
	横ばい	54.2	79.2	87.5
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐 土台角	上昇	4.0	0.0	4.0
	やや上昇	24.0	20.0	4.0
	横ばい	72.0	80.0	92.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物 (現地挽)	上昇	8.7	4.3	0.0
	やや上昇	47.8	26.1	13.0
	横ばい	43.5	69.6	87.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	やや上昇	4.2	4.2	0.0
	横ばい	58.3	37.5	16.7
	やや下落	37.5	58.3	83.3
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツ タルキ (現地挽)	上昇	4.5	0.0	4.8
	やや上昇	63.6	38.1	14.3
	横ばい	31.8	61.9	81.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド 集成管柱 (5層国内産)	上昇	0.0	4.8	0.0
	やや上昇	52.4	23.8	9.5
	横ばい	47.6	71.4	85.7
	やや下落	0.0	0.0	4.8
	下落	0.0	0.0	0.0
レッドウッド 集成平角	上昇	5.0	0.0	0.0
	やや上昇	45.0	25.0	10.0
	横ばい	50.0	75.0	85.0
	やや下落	0.0	0.0	5.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (国産品)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	78.9	63.2	31.6
	横ばい	21.1	36.8	63.2
	やや下落	0.0	0.0	5.3
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (輸入品)	上昇	5.3	0.0	0.0
	やや上昇	84.2	52.6	31.6
	横ばい	10.5	47.4	63.2
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	5.3
針葉樹 構造用合板	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	78.9	57.9	26.3
	横ばい	21.1	42.1	68.4
	やや下落	0.0	0.0	5.3
	下落	0.0	0.0	0.0

2. 価格動向

品 目		18/2月	3月	4月
スギ正角 (グリーン材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	3.7
	横ばい	96.3	96.3	92.6
	やや下落	3.7	3.7	3.7
	下落	0.0	0.0	0.0
スギ正角 (KD材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	3.8
	横ばい	100.0	100.0	96.2
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	96.3	96.3	100.0
	やや下落	3.7	3.7	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm ×4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	100.0	100.0	100.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

<モニターからのコメント>

- 米マツ一般材丸太は、2月積み輸出価格も値上げでコストアップに歯止めがかからない。製材メーカーも高値丸太を買えるメーカー、買えないメーカーで二極化が進んでおり、その格差は広がりつつある。(東京:問屋)
- 2月の声を聞いて少し勢いが落ちてきている。天候不順や産地高に対する抵抗が強く、一層の当用買いに徹している様である。需要の弱さが気になる。(東京:問屋)
- 国産材、一陽なるか。豪雪の影響はどこに出るか。外材動向に注目。(東京:問屋)
- 2月は売行き不振で価格の上昇は止まりました。3月から動きが見られると思います。(東京:問屋)
- 1月下旬ごろから動き一服。3月下旬ごろまで続くか、我慢のしどころ。(東京:問屋)
- 東海地方は年末からの雪のため、出荷減によるヒノキ原木の単価上昇にもかかわらず、製品は横ばい。(東海:問屋)
- 今年になって殆どすべて値上がりしたものの、今月の出荷はかなり鈍くなっている。まだ更なる値上げについて行けるかどうか？ (東海:問屋)
- 一般に景気上昇でデフレ脱却といわれているが、木材業界は半年遅れといわれる。今年もまだ正月休み続行中の感じ。(東京:仲買小売)
- 取引のある製材所、加工所に廃業されてしまい、困っています。木材の再割、再加工が困難になり、ますます木材の在庫は少なくなりそうです。(東京:仲買小売)
- 都心のマンション現場が減少してきた。周辺部の現場が春先から始まるが、値下げの要請が強くなってきている。(東京:仲買小売)
- 米マツ材と型枠用輸入合板の価格上昇に伴い、材質にムラが出てきたのが目立ちはじめた。(東海:仲買小売)
- 1月は年始の季節的要因を考慮しても荷動きが悪すぎた。仕入れ価格も上昇してくるであろうが、どこまで販売価格に転化できるか。(東京:仲買小売)